



**ツイストペアケーブル通信システム
アクティブ型映像受信機ハブ
VI6008HR VI6016HR VI6032HR**

取扱説明書



目 次

1. 正しくお使いいただくために	 P2
2. 概説	 P3
3. 仕様	 P3
4. 設置と設定	 P4
4-1. 準備	
4-2. 送信機側の設置と設定	
4-3. 受信機側の設置と設定	
5. トラブルシューティング	 P7

1. 正しくお使いいただくために

以下の警告・注意事項をお読みになり、安全にご使用ください



警告 人が死亡、または重症を負う恐れがある内容です。

- 電源は正しく使用する

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 湿気の多い場所では使用しない。

風呂場・炊事場など、湿気の多いところ、湯気、油煙、ほこりがあたるような場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 雷がなりはじめたときの対処

雷がなりはじめたら、すみやかに電源ケーブルを本体からはずしてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- キャビネットは絶対にはずさないでください。

火災・感電の原因となります。内部点検、調整、修理は販売店にご依頼ください

- 機器に異常が生じたときの対処

万一煙がでている、変なおいや音がする、本体を触ることができないほど発熱している場合などの異常状態になったときは、すみやかに電源ケーブルを本体からはずして販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

- 改造は絶対にしないでください。

本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 機器に水が入る可能性のある環境では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。降雨中、海岸、川岸水辺での使用は危険ですのでおやめください。



警告 人が障害を負ったり、財産が損害を受ける恐れのある内容です。

- 直射日光や熱器具の近くは避けてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くには置かないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

- お手入れのとき

お手入れのときは、安全のため、作業の前に必ず電源ケーブルを本体から抜いてください。

- 磁気を発生させる機器の近くには置かない。

磁気を発生させる機器の近くには置かないでください。磁気の影響をうけて、正しく動作しないことがあります。

2. 概説

Vigitron VI6008HR は 8 チャンネル、VI6016HR は 16 チャンネルまた VI6032HR は 32 チャンネルのアクティブ型 UTP 映像受信機です。送信機に VI6000VT を使用した場合、非シールドツイストペアケーブル (UTP) を介し、最長 1800m まで高品質のカラー映像を伝送します。また、送信機に VI1000M/F、VI1003M、VB1001M/F などのパッシブ型 UTP 映像送受信機を使用した場合は、最長 900m まで伝送できます。

この受信機ハブは Cat2-5 を使用するため、設置が容易で経済的です。またスパイク電圧から映像機器を保護するためサージ防止機能を備えています。さらにクロストークとノイズ防止機能により、ハムバーのない高品質な映像が得られます。

各チャンネルの距離は前面にある個々のボリュームで簡単に調整できます。また、映像を受信するとチャンネル毎に緑色の LED が点灯します。

3. 仕様

映 像 形 式	NTSC、PAL、SECAM
周 波 数 応 答	20Hz～6MHz
使 用 同 軸 ケ ー ブ ル	75Ω
使用ツイストペアケーブル	100Ω ±20%、AWG24 以上 非シールド Cat 2-5
挿 入 損 失	0.3dB
CMRR (同相信号除去比)	70dB
電 源	AC100～240V 50/60Hz
コ ネ ク タ	UTP: 着脱式端子台、映像: BNC × ス
温 度	使用: -10～70℃、保存: -30～70℃
使 用 湿 度	0～95% 結露なきこと
耐 サ ー ジ	6000V、1.2μsec x 50μsec
材 質	アルミ
寸 法	430(W) x 43(H) x 203(D) mm
重 量	1.5kg
設 置	19 インチ標準ラック (取付金具付属)、据置、壁掛

(注) 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

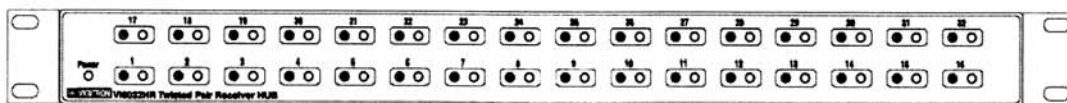
4. 設置と設定

4-1 準備

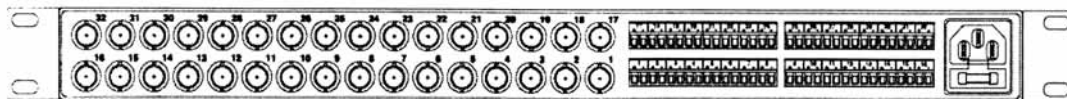
- 本機の付属品は次の通りです。ご確認ください。

両端 BNC 付 60cm 同軸ケーブル	8 本(VI6008HR) 16 本(VI6016HR) 32 本(VI6032HR)
電源ケーブル	1 本
ラックマウント用取付金具	1 組
取扱説明書 (本書)	1 冊

- 送信機を用意して下さい。送信機は別売です。
本機に適合する送信機、送受信機は次の通りです。
VI6000VT、VB1001M/F、VI1000M/F、VI1003M
VI1004、VI1008、VI1016、VI1032
- 伝送線には AWG24 以上の非シールド・ツイストペアケーブルをご使用下さい。ツイストされていないケーブルを使用すると、映像にノイズが発生したり、干渉を起こすことがあります。また、シールドされたツイストペアケーブルを使用すると、容量性抵抗の影響で、伝送距離が極端に短くなることがあります。
- UTP 送信機/受信機は 1 対 1 でご使用下さい。途中で分岐をとると、ゴーストなど映像劣化の原因になります。
- UTP 送信機/受信機から映像機器までの同軸ケーブルは 2m 以内にして下さい。2m を越えると映像反射などの問題が発生する場合があります。



VI6032 前面パネル



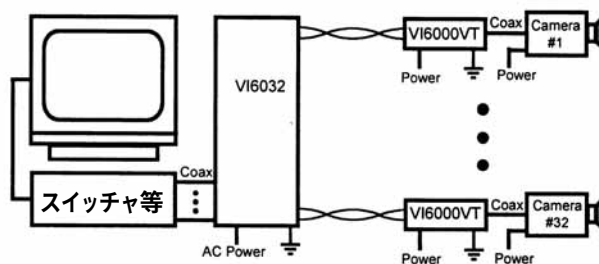
VI6032 背面パネル

4-2 送信機側の設置と設定

- 本受信機に適合する正しい送信機または送受信機を選択して下さい。
- 送信側に VI1000M/F などのパッシブ型送受信機を使用する場合。
 - (1) 各送受信機の BNC 映像入力に同軸ケーブルを介して、または直接、カメラなどの映像源を接続して下さい。
 - (2) 各送受信機の端子台に UTP を接続して下さい。
 - (3) GND をシャーシグラウンドに接続して下さい。
- 送信側に VI6000VT などのアクティブ型送信機を使用する場合。
 - (1) 各送信機の BNC 映像入力に同軸ケーブルを介して、または直接、カメラなどの映像源を接続して下さい。
 - (2) 各送受信機の端子台に UTP を接続して下さい。
 - (3) GND を AWG18 以上のケーブルで固定接地に接続して下さい。
 - (4) 送信機に電源を接続して下さい。
 - (5) 送信機の距離設定スイッチを、伝送距離が 900m 以上の場合は“HI”に、900m 以内の場合は“LO”に設定して下さい。

4-3 受信機側の設置と設定

- 本機をモニタ、VTR など映像受信装置の近くに設置して下さい。
- 本機と映像受信装置を付属の同軸ケーブルで接続して下さい。
- 本機の着脱可能な端子台に UTP を接続して下さい。この時、端子台の番号と映像出力 BNC の番号が一致していることを確認して下さい。
- 電源を本機の POWER 端子台または電源差込口（機種により異なります）に接続してください。
- チャンネル毎に、最良の映像が得られるよう、前面パネルのボリュームを調整して下さい。もし、映像が乱れていたら端子台に接続された UTP の極性を換えてみて下さい。



システム例

5. トラブルシューティング

問 題 点	予想される原因	対 策
映像が出ない。	接続が確実でない。 異なるペア線が接続されている。	接続が確実になされているか、ケーブルが途中で断線していないか確認して下さい。 各映像信号が同一のペア線になっているか確認して下さい。
映像が乱れている。	ペア線の極性が逆。	それぞれのペア線の極性を確認して下さい。 端子台の番号と BNC コネクタの番号とが一致しているか確認して下さい。
映像が不安定で、 ゴーストがでる。	ペア線が途中で枝分かれしている。	送信機と受信機は非シールドツイストペア線で一対一に接続されていなければなりません。途中で枝分かれしていないか、スター結線になっていないか確認して下さい。
映像にノイズが多い	ツイストされていないペア線が 使用されている。	干渉をふせぐため、ツイストされたペア線を使用して下さい。
映像が暗い	ケーブルが長すぎる。 ペア線が細い。	送信機・受信機と各映像機器間の同軸ケーブルの長さが 2m 以内であること、またツイストペアケーブルの長さが仕様を越えていないことを確認して下さい。 AWG24 以上のケーブルを使用して下さい。
画質が悪い、 またはぼやけている。	シールド線が使用されている。	インピーダンスの不一致を防ぐため、Cat2-5 の非シールドツイストケーブルを使用して下さい。

MERIT

有限会社 メリット

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-1-11 飯田橋デルタビル 8F

電話：03-3868-8051 ファックス：03-3868-8055

URL：<http://www.meritcctv.com>

E-mail：info@meritcctv.com

2004.11.30